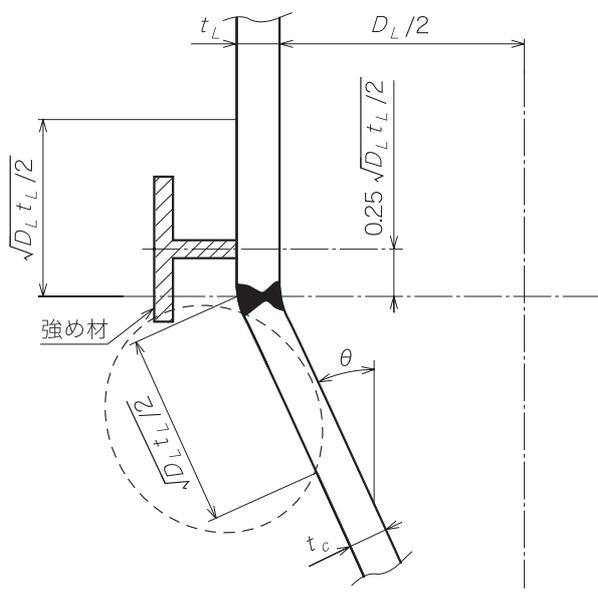
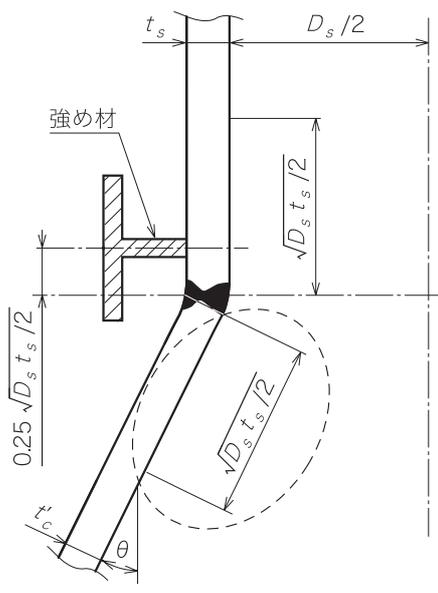


# 圧力容器の構造—一般事項

## 正 誤 票

区分	位置	誤	正
本体	付図 1 図 e)	<p>(正しい図を、下記に示す。)</p> <p>半だ円形鏡板では最小 <math>2t_h</math> (ただし 12.7 以上) 他の鏡板では最小 <math>2t_h + 12.7</math></p> <p>プラグ溶接</p> <p><math>t_s</math> (最小)</p> <p><math>t_s</math></p> <p><math>d</math> 以上</p> <p><math>d</math></p> <p><math>d</math> 以上</p> <p><math>3d</math> (最小)</p> <p><math>3t_h + 12.7</math> (最小, ただし 25.4 以上)</p> <p>(  訂正箇所)</p>	
	付図 2 b-1) 備考	$t_r$ : 胴又はノズルの計算厚さ (mm)	$t_r$ : 胴又はノズルの (継ぎ目無し胴としての) 計算厚さ (mm)
	付表 1	JIS H 4100 : 1999 アルミニウム及びアルミニウム合金押出型材	JIS H 4100 : 1999 アルミニウム及びアルミニウム合金の押出型材
		JIS H 4657 : 2001 チタン及びチタン合金の鋳造品	JIS H 4657 : 2001 チタン及びチタン合金の鍛造品
	付表 2.1.1 種類, JIS G 3463 の 記号: SUS304TB の 製造方法: W の上段 の 600 °C の欄	54	50
	付表 2.2 種類, JIS H 5202 の 記号: AC4C-T6 の 下段の 100 °C の欄	41	40

区分	位置	誤	正
<p>附属書 1</p>	<p>図 3</p>	<p>(正しい図を、下記に示す。)</p>  <p>(  訂正箇所)</p>	
	<p>図 6</p>	<p>(正しい図を、下記に示す。)</p>  <p>(  訂正箇所)</p>	
<p>附属書 3</p>	<p>2. B<sub>1</sub></p>	<p>B<sub>1</sub> : B + g<sub>0</sub> (mm) (f<sub>1</sub> ≥ 1 の一体形フランジの場合)</p>	<p>B<sub>1</sub> : B + g<sub>0</sub> (mm) (f<sub>1</sub> ≥ 1 の一体形フランジの場合)</p> <p>B + g<sub>1</sub> (mm) (ルーズ形フランジ及び一体形フランジで f の最小採用値は 1 であるが、附属書 3 図 4 より求まる f が 1 未満となる場合)</p>
	<p>2. B<sub>2</sub></p>	<p>B<sub>2</sub> : B + g<sub>1</sub> (mm) (ルーズ形フランジの場合)</p>	<p>削除</p>
	<p>5. b)</p>	<p><math>H = \frac{\pi}{4} G^2 P</math></p>	<p><math>H = \frac{\pi}{4} G^2 P_e</math></p>

区分	位置	誤	正
附属書 3	表 2 ガasket座の基本幅 (附属書 3 表 3 参照) の欄	“ガasketの材料”欄の“渦巻形金属ガasket (石綿入)”に相当する箇所に仕切り線がある。	この欄の上部の仕切り線を削除する。
附属書 4	2. $G_0$ の次	( $g_0, g_1$ 及びその説明がない。)	$g_0$ : ハブ先端の厚さ (mm) $g_1$ : フランジ背面のハブの厚さ (mm)
	図 1	$h'_r$ $h'_p$	$h'_r$ $h'_p$
附属書 5	2. a)	$C_3$ の式	$t_1$
		$C_4$ の式	$F'_1$
		$L$ の式	$t_e$
附属書 7	4.2 $\eta$	$P_t$	$p_t$
	5.2.1 b) 3) の備考 2.	$P_s$ 及び $P_t$ については, ...	$P_s$ 及び $P_t$ については, ...
附属書 8	2. $\sigma_a$	設計温度における材料の許容引張応力で, 本体の...規定する値を用いる (N/mm <sup>2</sup> )。	設計温度における材料の許容引張応力
	5.2.2 d) 備考 $M$	...。ただし, 附属書 8 図 3 d) に示すフランジ付皿形ふた板にあつては, 更に, $H_7h_T$ を, ...	...。ただし, 附属書 8 図 3 d) に示すフランジ付皿形ふた板にあつては, $H_7h_T$ を, ...
附属書 9	4.3 c)	...4.1 の算式において $P_c$ を $p'_c$ と読み替える。	...4.1 の算式において $p_c$ を $p'_c$ と読み替える。
附属書 12	2.1 a) 1)	...において沸点以下である場合。	...において沸点未満である場合。
附属書 13	図 5	<p>(正しい図を, 下記に示す。)</p> <p>( ( ) 訂正箇所)</p>	
正誤票 <sup>(1)</sup>	附属書 3 4.3 b) “誤” の欄	$\sigma_H = \frac{fM}{Lg_i B}$	$\sigma_H = \frac{fM}{Lg_i^2 B}$
	附属書 3 4.3 b) “正” の欄	$\sigma_H = \frac{fM}{Lg_i B}$	$\sigma_H = \frac{fM}{Lg_i^2 B}$
	付表 2.2 (チタン) 種類, JIS H 4600 の種別: 12 種の規定最小引張強さの欄	340 (厚さ 0.2 mm 以上 5 mm 以下)	340 (厚さ 0.2 mm 以上 15 mm 以下)

注<sup>(1)</sup> 正誤票は, 平成 16 年 12 月 1 日作成のもの